



野網 義一 議員

霞間ヶ溪花畑 ドウダンツツジを 改植し芝桜を増やせ

町長

花畑を開設して3年目、四季を通して花を楽しんでいただいている。現地を確認してきたが、約700株欠株になっている。毎年補植しながら更によいものにした

い。ドウダンについては垣根風に開花後に刈り込む管理を考えている。ツツジの枯れた部分があるの下下のドウダンから約100㎡移植し、空いた所に芝桜を植えたい。霞橋からドーム北側を通り、ふれあい街道に接続する道路計画を進めている。その法面を芝桜とドウダンが大きく成長出来るよう間隔を空けて植えたい。

花畑も年々よくなっている。今年はコロナ感染対策で入場が規制され大変残念だった。また、芝桜で3か所ほど多湿でまとまって欠株がある。ドウダンが40cm間隔で密植された部分はほとんど花を付けなかった。白い花が付いたのは一列二列植えられたところや密植部分の周辺部だけ。白い花を付けたドウダンにするためにも他の場所に移植すべき。移植先はふれあい街道周辺の空き地や霞間ヶ溪公園駐車場の法面が適地と考える。また、中央の通路より下のドウダンは芝桜に改植した方が見映えすると思う。

コロナ対策について

3月2日から学校が休業し児童クラブの利用が大幅に制限され、利用できない保護者は交替で仕事を休むなど大変だった。4月からは保育園も希望保育として利用者が制限された。期間中の児童クラブ・希望保育の受入れ状況は。

4月13日時点よりも保護者の仕事の状況により受け入れを増やした。

希望保育受け入れ状況 (単位:名)

	園児数	希望保育数	
		4月13日	5月31日
公立(5園)	423	45	67
認定こども園(3園)	213	26	52

児童クラブ利用状況 (単位:名)

	登録者数	利用者数	
		4月13日	5月31日
通年	229	48	54
長期休日	77	11	16

95.2%給付済。残り458世帯に民生委員の方の協力も得て給付する。

コロナの影響で就職出来なかった人を会計年度任用職員採用実績は。

4月から内定取り消された一人を採用し、道の駅で働いてもらっている。

池田町の会計年度任用職員の間中の仕事は。

平常時には十分に出来なかった施設の整理や清掃等やっていただきながら報酬を全額支払った。

池田温泉や道の駅の休業補償やテナント料はどうしたか。

池田温泉は4月10日から5月24日まで休業したのでテナント料は県の交付金の対象にした。上田屋とたち川は減免した。

三密にならないよう、手指の消毒や使用部分の消毒、換気、使用簿の作成等徹底する。

学校のコロナ対策・熱中症対策は十分か。

換気型のエアコンではないので窓を開けながらエアコンを使用、扇風機も使用する。給食は対面とならないよう食堂と教室を利用。マスクの着用は登下校はやらなくてよい。首を冷やすネックシートも認めている。

国保税・固定資産税の減免適用は。

国保税は、所得額に応じ全額から2割までの減免制度を設けた。固定資産税は令和2年2月から10月までの任意の3か月間の売上高が前年同期比30%以上減少している者は二分の一、50%以上はゼロに軽減措置を設けた。

コロナ対策の窓口を一本化しては。

窓口を一本化するのが一番よいとは思いますが、総務課を中心として全庁体制で丁寧に対応する。